



## 地区補助金による事業実施実績報告書

2024-2025年度 水海道ロータリークラブ 幹事 大澤 清

～地区補助金を活用して常総市内外国籍児童への保育・教育支援～

- ① **受付期間** 2024年3月10日～4月20日 地区補助金申請
- ② **趣旨及び概要** 令和6年4月1日現在、常総市人口における外国人の割合が10.75%と県内2番目に多く、保育所や幼稚園から日本語や日本文化の習得が必要とされている。日本人の子どもたちと同様に成長してもらい、言語や文化の違いが弊害とならないように支援する。
- ③ **仮申請書と本申請書を提出し財団委員会より補助金活用の決定をいただく**
- ④ **プロジェクト実施による恩恵**
  - ・常総市小学校中学校の言語担当職員の減少を図れる
  - ・常総市小学校中学校で日本語による授業が円滑に行われる
  - ・外国籍児童が置き去りになることによる非行や犯罪防止につながる
  - ・外国籍児童が日本語を習得することにより、親への通訳の役割が果たせるようになる
- ⑤ **プロジェクト参加者**
  - ・常総市役所こども課職員2名 保育園4名 幼稚園（含：認定こども園）4名
  - ・ロータリアン20名
  - 会長幹事・R財団委員会・青少年奉仕委員会・社会奉仕委員会・他
- ⑥ **ロータリアンとしての活動**
  - ・行政、保育教育施設との交渉協議及び連携
  - ・保育園及び幼稚園（含：認定こども園）との外国籍園児等についてのヒアリング
  - ・贈呈式（市内4か所）「サクラクレパス・お米の粘土・名作絵本・日本の昔話英語日本語・世界の昔話・はじめての名作絵本」

以上の活動を経て2024年11月6日(水)例会終了後に支援品の贈呈式に至りました



先ずもって今年度の地区補助金が有効に活用され、事業が完結されたことに感謝します。今後、外国籍児童や家族が地域社会や日本人児童との早期にコミュニケーションが図れること。今後も増加が予想される外国籍児童の受入れ体制が広がり、文化や習慣を理解し合える環境作りに貢献すること。そして茨城新聞にも掲載されたようにロータリークラブの公共イメージ向上や啓発活動につながることでしょう。以上報告といたします。